

O.S.P



VOL.12
June

{ OSPREY / SPIRITUAL / PERFORMER }

無料

ご自由にお取りください

O.S.Pプロスタッフが
ホームレイクを徹底紙上ガイド

The Field Guide

～早川純一@印旛沼～



Keep it on the down low!!

—並木敏成が語る
あのルアーの真実—

～O.S.Pが誇る3タイプのプロッグ～

The Kotaro's Maxims

ワーミングの極意を伝授!!

O.S.P
動画

…▽…
随時
更新!!

TOPICS

紫外線から手を守る
O.S.P
UVプロテクトグローブ
《速乾タイプで》
夏でも快適!!



腕利きプロスタッフが明かす必須ルアー

二羽の鶺の眼

浦川正則 / 竹内一浩

並木敏成&O.S.Pの最新情報はこちら。
並木敏成→<http://bit.ly/23mw0z2>
O.S.P→<http://bit.ly/1RmhVLw>



Journal



ワーミングの極意を伝授!!

新たにドライブシリーズのラインナップに加わったドライブホッグ2.5インチ。わずか2.5インチの小粒と侮るなかれ。このコンパクトボディにはビッグバスをもバイトに導く無限の可能性を秘めている。決して数釣りだけではない。またタフコンディション下だけが出番ではない。あらゆる場面でバスを誘い、寄せ、そして確実に口を使わせる。そんな無敵のホッグ系ワームが、満を持してO.S.Pから登場した――

THE KOTARO'S MAXIMS



川村光太郎が実釣を交えて解説
ドライブホッグ2.5インチ・
O.S.P動画にて近日公開!!

すべてのパーツがそれぞれの役割を果たし
どんなときでも確実に誘い、口を使わせる

この春、新たにドライブシリーズのラインナップに加わった“ドライブホッグ2.5インチ”。すでにその威力を体感したというアングラーも少なくないのでは？ 今回は2.5インチという小粒なボディに秘められたコンセプトをご紹介します。

さまざまなリグにセットして使えます!

「ドライブホッグはさまざまなリグにセットして使うことができ、状況に応じて使い分けることができます。今回の実釣でメインに使用したのはジグヘッドとジカリグ。ジグヘッドは垂直護岸の壁に沿って中層シェイクで誘いました。ラインを見切るようなスレたバスには、極力、ラインを見せないように食い上げさせるのが狙いです。またジカリグはシンカーの高さをボトムから持ち上げて誘えるのがメリット。テキサスと比較するとややカバーには入れにくいけれど、どちらのリグも水平に近い姿勢で誘えるのがいいですね。ほかにはダウンショットやキャロなどもおすすめです。ジグヘッドやテキサスリグと違ってワームがリーダー分、シンカーから離れていますよね。これがフォールするときにウォブリングのような動きを出すのです。ぶるぶると自発的な動きを発生しながらフォールするんですが、まずは使う前に自分の眼でその動きを確かめてから使うといいでしょう」



ジグヘッドはベビースーティングボールの1/8oz・#2がベストマッチ。カバーの濃さに応じて、ガードの本数を調整している。垂直護岸の壁に沿って落ちていくときは、ガードを2本残して左右に開いて使用



プレッシャーが高い人気エリア。しかし確実にバスをストックしている。ということで光太郎が選んだ戦略はジグヘッドによる、垂直護岸の壁攻め。微細なシェイクに機敏に反応するドライブホッグが激スレバスを捕獲!!



ジカリグはシンカー分、ワームを浮かせた状態を保持できる。また止めたとき、ノンソルトボディの恩恵でワームが垂れ下がることなく、水平に近い姿勢をキープ。オフセットフックの場合#1か#2がベストマッチ



フックを保持する肉盛り注目

「先に解説したオフセットフックの解説方法ですが、#1のフックを使用する際にラインアイが出た状態で刺さないと、くびれをかわずすることはできません。しかしそれだとフックがズレやすい。この問題をクリアするために施した工夫が、このでべそのような肉盛りです。このおかげでフックを浅く刺してもしっかりとキープしてくれます。もちろん最初のひと刺しはこのど真ん中が目安です」

各フックをセットするときの注意点

「まずはジグヘッドをセットするときの注意なんですが、フックを抜く位置を間違えて、それをやり直そうと抜き差しするとワームがぐずぐずになってしまっていて、ハリ持ちが悪くなってしまいます。そこでフックを抜く目安となるのがボディにあるポッチです。ベビースーティングボールの1/8oz、フックサイズ#2がベストマッチなので参考にしてください。オフセットフックならTNSもしくはDASオフセットの#1と#2のどちらかがいいですね。ちなみにこのとき注意したいのが、パドルの付け根付近にあるくびれの存在です。これよりも後ろ(テール側)でフックを抜くと、このくびれを生かせません。ちなみにオフセットの#1の場合、このくびれよりも前(ヘッド側)でフックを抜くため、ラインアイはやや出した状態で浅くセットしています。このくびれがあることで、大きくしなるような動きを出すので、くれぐれも注意してください」



ジグヘッドはベビースーティングボールの1/8oz・#2がベスト。フックを一回で真っすぐ刺せるようにボディに目印のポッチを付けている



赤い丸印のついている部分が、フックを抜く目安のポッチ。ヘッド側から2本目のレッグの並びにあるのがわかるだろう。ここからフックを抜く

スモラバとは異なる微細な動きを出すことが可能な、ワーム素材のフラスカート。透明感を持たせることができる点や、先端に向けて細くすることでより繊細な動きを出せるなど、そのメリットはさまざま



ヘッド部に設けられたこの肉盛りが、フックを浅く刺した場合でもしっかりとキープしてくれる。バイトフイネスタックルで太めのラインで使用するときは、できるだけ太く大きめのフックを使いたい。そんな欲求をかなえるための工夫である

異なるリズムを奏でる3対のレッグ

「体側に設けた4対のレッグですが、これがピリピリと震えながら落ちるだけでなく、1対だけ長くしたことによって、これだけがキビキビと動きます。つまりこの1対だけが、他の3対とは異なる動きをするんですね。シェイクをするこの長さの違うレッグが異なるリズムを刻んでバスを誘うのです」



一番下(テール側)のレッグのみ長く設定したことで、シェイク時にピリピリ、キビキビと異なるリズムを刻む複雑なアクションを生み出す。フォール時には細かく震え、ここでもバスにアピールする

矢印の位置にくびれがあるのがわかるだろう。フックをセットする際は、この位置よりもヘッド側でフックを抜くこと。パドルは強めの誘いを入れると、小魚や甲殻類の逃走をイメージさせるアクションを生み、リアクションバイトを誘発する

しっかりなびくツインカーリーテール

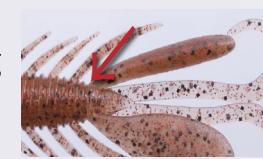
「フォール中にしっかり動くカーリーテールですが、これも形状や厚さを煮詰めることで、スローでもしっかり動くようにしています。フラスカートを付けたことでフォールスピードはどうしても遅くなってしまい、それだとカーリーテールが動かない。そうならないための設計です。表面には細かな突起を設けたことで、カバーへの巻きつきを軽減します」

このツインカーリーテールもフォールだけでなく、シェイクにも機敏に対応。厚さや形状、長さも徹底的に追求し、スローフォールでもしっかり動くテールを採用した



息づくような動きが自慢のパドル

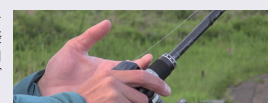
「左右にあるパドル部分はサカナのえらのように、息づくようなハフハフとした動きを生みます。テキサスリグやダウンショットでちょっと大きめにチョンチョンと動かせば、このパドルがキックするような逃走アクションを見せます。その動きの要となっているのが、パドルの付け根に設けたくびれです。フックをセットするときの解説でも述べましたが、このくびれに干渉しない位置でフックをセットすることが大切。柔らかい素材と付け根を細くしたことも、この動きに一役買っています。とにかく、どんな誘いでもいい動きを見せてバスを誘う。これがドライブホッグの最大の特徴といえるでしょう」



ワーム素材ならではのフラスカートがいい!

「ドライブホッグの最大の特徴は、何といてもフラスカートでしょう。微細なシェイクを加えればピリピリと細かく震え、動きを止めるとパツと開く。これはスモラバにはまねできない、ワーム素材ならではのメリットですね。ホッグワームはもともと水を動かすワームなのですが、それをさらに強くするパーツがフラスカートなのです。常に水を押すことで、2.5インチとは思えない存在感を出してくれます。またラバーと違って太さを変えられるのも、ワーム素材のフラスカートのいいところ。根元から先端に向けて細くすることで、より繊細な動きを出すことができます」

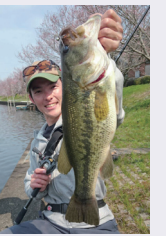
川村光太郎の食わせ技のひとつ、マイクロピッチシェイク。ピリピリと小刻みということでは表現できない微細なシェイクでそこにいるバスに口を使わせる。この誘いにもしっかり対応するのがフラスカートの強み



実は… スモラバとも相性がいいんです

「ダウンショットやジグヘッド、ジカリグ、キャロなどさまざまなリグと相性がいいドライブホッグですが、実はスモラバのトレーラーとしてもベストマッチ! このとき、ラバースカートと干渉しないように、フラスカートはカットして使用することをおすすめします。タフなことで名高い大江川(愛知県)での取材時には、このセッティングで50cmをキャッチすることに成功しました。小さいけれどボリューム感があるので、数釣りはもちろん、こうした一発が狙えるのも、ドライブホッグの魅力ですね」

アングリングバス別冊、川バス攻略の本の取材時に出た一匹。コンパクトボディだからと侮るなかれ。こんなビッグバスをも手の中に収めるポテンシャルが、ドライブホッグ2.5インチにはあるのだ!





item スピントールフロッグ

カバーでもスタックしないフロッグ

今回は6月の河川攻略に欠かせないルアーということで、ご紹介させていただきます。まず、ホームグラウンドの利根川の、例年のフィールドコンディションから説明しますと水温は20~25℃ほど。大半のバスはスポーニングを終え、体力回復のためにエサを捕食している季節です。狙うべきエリアはスポーニングエリアとなる支流やワンドのマウス部分から、水通しのいいエリアに徐々に移行していきます。6月後半になってくると関東エリアは梅雨入りするため、水位の増減が激しくなることが多くなります。またシャローを釣るうえで重要な要素であるテナガエビの接岸(産卵のため)もこの時期です。これら要素を踏まえ、すでに



スピントールフロッグ

O.S.Pサイトのレポートでも何度か触れていますが、オススメしたいルアーはスピントールフロッグです。体力回復を図るバスのメインベイトとなるテナガエビは捕食しやすく、ハードボトムやウッドカバーに着くのでそれを効率よくチェックできるのがこのルアーなのです。O.S.Pには用途によって使い分けられる3種類のフロッグがラインナップされていますが、対ウッドカバーなのですり抜けが

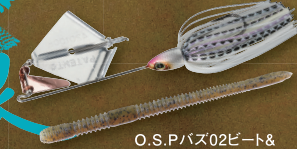
いいとんがり頭のがベスト。バスのコンディションや水の色からスライド幅は抑えたいということもあってのチョイスです。濃い目のカバーに撃ち込んでいくので、カラーは視認性の高いリアルマガエルなどの派手系が好みです。利根川は大規模河川なので風や流れ、水位の影響が大きく出て狙うエリアも刻々と変わります。そんなフィールドをスピントールフロッグはスタックすることも少なくチェックできます。また、季節的にドンピシャで比較的、簡単にバイトが得られると思いますので、ぜひチャレンジしてみてください。



item O.S.Pバズ02ビート&ドライブクローラー

絶対に欠かせない2アイテム

6月の河川でおすすめるルアーといえば、ボクの中で2つあります。本当はひとつに絞り込みたいところですが、どうしても絞り切れないので2つご紹介させていただきます。まずは02ビート。この時期はまだ適水温でもあり、スポーニングから回復しているバスを狙っていくのがベスト。とはいえスポーニングで失った体力を回復しきれていない個体もまだまだいる状況であることが予測されます。回復した個体をターゲットにするなら流れの効いたチャンネルサイドのフラットやストラクチャー、ウィードといった所を中心に狙っていくのですが、早く手早くサーチしていくためには、アピール力の高い02ビートは欠かせませんね。甲高いクラッカーサウンドで浮き上がりの



O.S.Pバズ02ビート&ドライブクローラー

よさ、そしてキャストビリティにも長ける02ビートは、この時期はこの河川に行っても高い実績があります。実際に昨年6月に雑誌の取材ではじめて訪れた岡山倉敷数川では、サーチルアーとして最初に使っていましたが、結果的にはメインベイトとして大活躍してくれました! 悩み抜いたもうひとつのルアーはドライブクローラーです。ドライブシャッドやハイビッチャー、ブリッツな

んかもかなりいいのですが、ドライブクローラーは河川のタイプを選ばず、どんなリグにも高い汎用性を見せるという点がおすすめる理由。先に述べたように6月の河川においては、回復した個体もいれば、回復しきれていない個体もいるわけです。ですのでスローに誘えるルアーであらゆるリグにマッチするドライブクローラーは、極ルアーの数を減らしたいオカッパリの釣りでは非常に重宝してくれてるんですよね。この2つのルアーがあれば、ノーフィッシュの心配はないでしょう!

二羽の鵜の眼

このコーナーでは、O.S.Pが誇るプロスタッフ陣が自身のホームレイクのシーズナルパターンをもとにこの時期に欠かせないアイテムとその使い方を解説。ぜひ参考にしてほしい。

6月の河川攻略に不可欠なO.S.Pルアー

先輩方に感謝しながら釣りにしてます...



どうも、O.S.P入社2年目に突入したゴンノです。ボクはお父さんではありませんが、そこはまあ、カンニングしてください。大阪から八王子に出てきて、1年が過ぎました。土地勘はない。だって、釣りが好きすぎてヒューマンアカデミー・フィッシングカレッジに行っただけ。なので自宅近くの相模湖に、ちよくちよく行ってます。でも一人暮らしなので釣りにかかる費用は食費と相談です。給料日前はパンだけで過ぐすこともありますが、食べられるだけマシです。あはは。先輩です。会社では一番手前なので、ありがたいことによくおごってもらいます。もっぱらラーメンですけど、たまには牛丼、おごってください。僕は釣りは言えませんが、ときには社長にはほんに感謝です。でも人間、生きていけば歳はとるもので、いまは21歳の一番手前なのでかわいくなってもらってますけど、ええ歳になったとき、果たしてメシ心配です。あー、歳はとりたくないですね。なんて考えていたら腹が減ってきた。今日のラーメン当番の先輩は…… あ、麻生さんやっただかな? あそっさん、ラーメン食べに行きますけど、一緒に行きませんか? (これ、作戦です。)

あなたなら、どうする? どうしてる? 全国のお父さんやママさん。釣りに行きたくても、自由に行くことができません。それは釣り業界人として同じ。だから釣りに行く前には必ず、こんなことをしているのです……

釣りに行くためのOOO

O.S.P社員 権野武慶さんの場合

PRESENT! event@o-s-p.net

ベントミノー106Fを4名に!!

応募方法 希望者はメールにて、件名「O.S.P JOURNAL プレゼント係」とし、以下の項目に答えください。

- このパンフレットをどちらのお店で手にしましたか
- このパンフレットの率直な感想
- このパンフレットに求める情報
- 釣り歴とホームグラウンド
- O.S.Pで好きなルアー

以上5点の回答に加え、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、ご応募ください。締切は2016年6月30日(木)。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

個人情報について ご提供いただきました個人情報は厳重に管理し、賞品の抽選、発送および当選者への連絡に使用します。また、提供者の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません(法令等により開示を求められた場合を除く)

オリキンの

集魚力アップのシンクロストロング

太めのゴムラバーは水中でのフレア感、水押しなどO.S.Pジグ01ストロングやO.S.Pジグ03ハンツストロングでその集魚力を実証済みです。そこで、シンクロに注目! 食わせに長けたスモールシルエットルアーに存在感のあるラバーでパワーアップさせたら、絶対釣れるはず。ラバーは03ハンツの物を使用し、一本一本がしっかり動くように、通常よりも少なめの本数で巻きました。カバーの中やボトムに隠すようなサイトフィッシングでも、必ずやバスの目に留まること間違いなし!



ヒミツの小屋



KEEP IT ON THE DOWN LOW

これは、ここだけの秘密
並木敏成が語るあのルアーの真実と
ということ

Theme

O.S.Pが誇る3タイプのフロッグ

このパンフレットを手にした、あなただけが知っているあのルアーの真実と、本当の使い方。

ベジテーション系カバーだけじゃない! 特性を生かせばあらゆる場面で活躍する!!

今回はO.S.Pで3タイプをラインナップしているフロッグカテゴリーについてご紹介しよう。

いよいよフロッグゲームのベストシーズンが到来。ここで「フロッグ」と聞くとリリーパッドや水面まで伸びたウィードに代表される、ベジテーション系のカバーで使うものだと思われがちだが、果たしてどれぐらいいるだろうか。決してその答えは間違いではないのだが、フロッグの特性を考えると、使うシーンがそれだけと決めつけてしまうのは、あまりにももったいない。根掛かりしないという特徴はアシ、ガマやブッシュの中なども果敢に攻めることができ、スキッピングのさせやすさは、オーバーハンクや棧橋の下といった狭い隙間にねじ込める。また岩盤に当てたりバンクに一度乗せることで、

自然に静かにアプローチすることもできる。これはソフトなボディで破損の心配がないがゆえ、可能にするタイトなアプローチだと言える。



決してカバーだけではない。オープンウォーターでも出番があるフロッグを、使いこなさない手はない。フロッグはマルチな使い方ができるトップウォータールアーなのだ。

さて、フロッグには大別すると2タイプが存在する。ひとつはボディ先端がとがったシャープノーズ型。もうひとつはポップ音を生み出すことができるポッパー型である。シャープノーズ型は木やブッシュに挟まりにくく、すり抜けに長け、カバーに強い。ポッパー型は先述したようにポップ音を発するなど、アピール力が強い。大きくこの2タイプがあることを覚えておこう。

それまでのフロッグの常識を大きく覆した カエルにも小魚にも見えるマルチフロッグ

O.S.Pのフロッグ陣の中でシャープノーズ型は2タイプ。その中からまずは「スケーティングフロッグ」の話しよう。

このスケーティングフロッグが誕生するまで、シャープノーズ型のフロッグはやや幅広のボディに、長いラバーの集合体



が左右から出ているというのが一般的であった。そしてこのラバーはボディ内部で一本につながっており、真ん中に結び目を設けることで抜けにくくしている。東のラバーが左右から出ているため、ボディの見た目と相まって、カエルが足を広げているように見える。実際、バスを誘う効果としては水面でワッキーワームを動かしているのと同じように感じていた。だからこそ、例えばポストスポンのフライを守っているオスバスを怒らせる能力は高いものの、ベイトフィッシュを追っているような状況、もしくはスピーディ

な展開で攻めるといふときに、このシャープノーズ型フロッグにストレスを抱かざるを得なかった。

そこでスケーティングフロッグに求めたのは、ペンシルベイトのような動きと、ベイトフィッシュを追うバスを振り向かせられること、さらにはI字引きにも対応するシャープノーズ型のフロッグというもの。今でこそ、こうしたコンセプトを持つフロッグは増えたが、当時では画期的かつ斬新なアイデアであった。

見た目はカエルに似せつつも、ベイトフィッシュにも見えるような細身のシルエットに仕上げ、かつすり抜けも重視した形状を採用。フッキング率を高めることを大前提に、ボディの腹側は細く、背中側の後方が最大幅となっている。この幅がダブルフックの幅と同じで、ボディがちよっとでもへこむことですぐにフックが飛び出る、という設計だ。またフッキングしたあと、ボディが上下180度に向きが変わるぐらい自由度を持たせてあり、これもまたフッキングのよさにつながっている。フロッグは日本のフィールドにおいて、ノラなルアーという認識が広がっている。バスの平均サイズが小さかったり、プレッシャーの高さゆえ、甘噛みが多かったり。そんな中で抜群のフッキング率を誇るフロッグにしたかったという思いを具現化したといっても過言ではないだろう。



ボディの真後ろから出ているひと束のラバーは、ラバージグのスカートと違って幅広のラバーにすることで、シルエット的存在感を持たせたのと同時に、より滑っていくアクションにも貢献。抵抗が少ないため左右に首を振らせやすいだけでなく、惰性で前方に流れるスキージングもしやすい。これらは幅広のラバーを、適正な本数、装備させた賜物である。

さらに浮き姿勢について。このフロッグは水平に近く、ロッドワークを加えれば移動距離の短いドッグウォークをこな



七川貯水池でのロケでは、水温の変わり目となる場所のゴミ溜まりからバスをキャッチすることに成功。タイミングを変えて入り直すたびに、スピントールフロッグでバイトを得た

し、少し強めに引けば流れるようなスキージングアクションもイージーだ。あとはI字引き。一定の速度で引いてくるだけで、バスを水面に誘い出せる。この使い方が効く場面も少なくない。

このスケーティングフロッグには、ダブルフックの股の部分にアイがついているのがわかるだろう。これはアシストフックの装着に耐えうるほど強固にしている。ここにボールベアリングスイベル+コロラドブレード(O.S.P純正のものなら#2)をつけるというチューニングも効果的。首振りアクションではもちろん、I字引きのときもブレードによる集魚効果は抜群。ぜひお試しください。



ブレードチューンを使い込んでいく中で よりその効果を高めるアイデアを製品化

スケーティングフロッグにブレードを装着したチューニングで使っていく中で、よりその効果を高めるためのアイデアが浮かび、際立たせたものが「スピントールフロッグ」だ。スケーティングフロッグと同じボディを使っているのだが、それはスピントールフロッグのために改良するという必要性がなかったため。しかしながらボディ後方にブレードがデフォルト。加えてボールベアリングスイベルの重量も乗せてくるとなると、やはり腹に装着したウエイトは軽くせざるを得ない。スケーティングフロッグと同じままでは狙った姿勢(45度ほどの頭上がり。1カ所であちこちと首を振るアクションを出しやすい)にできないため、この点に関しては改良していることを覚えておいてほしい。



さて、スケーティングフロッグにブレードをつけるとボディが横を向いたり、回転した経験をお持ちの方も多いのではないだろうか。腹部につけたブレードはそこが軸となり、それより上は暴れやすくなる、というのがその理由。そこで引く際の抵抗になるものは一番後ろにあるほうがスムーズに進むという理論のもと、本来、ラバースカートがあった位置にブレードを装着。またスケーティングフロッグでは水面下で回っていたブレードが、スピントールフロッグでは水面の境目で回ること空気をはらみ、引き波や水しぶき、そして音(サウンド)が大きくなるという効果も持たせることができた。さらにフラッシングによるアピールと、幅広いリトリープに対応するというメリットも、このブレードがもたらしてくれた。

本当にブレードの効果というのは大きく、ライギョの釣りを

するアングラーの間ではあまりにも釣れるため「ブレードは反則」と言われることも多いらしい。まさにそのとおりで、例えば浮きゴミを攻めるとき。フロッグでは一般的なラバースカートは水面を覆うゴミの下に落ちてくれない中、金属製のブレードは自重で垂れ下がってくれる。これでゴミの下にいるバスに、フラッシングでアピールすることも可能になるのだ。



ビッグバドのような水面強波動でバスを呼ぶ 他とは一線を画すポッパー型フロッグ

最後はダイビングフロッグ。ポッパー型フロッグは世に数多ある中で、明確な違いを持たせたかった。それは「ポッパーであり、クランクであり、そしてビッグバドのような水面強波動ルアーである」ということ。フロッグというジャンルにカテゴライズされる中、ただ巻きで使用すると水面下50cmぐらいをワイドなウォブリングで潜行する。水面に浮かせたままロッドアクションを入れると、首を振り

ながらポップ音を発生。少し長めに引いてやればダイブして、リトリープを止めるとキックバックしながら浮いてくるダーターブ



ラグのようにもなる。要するにポッパー的ポップ音とペンシルのような首振り、ラバーによる誘い、ブレードをつければそのフラッシングと干渉音、そしてアシストフックをつければ抜群のフッキング率を誇る、まさに使っていて楽しい芸達者なフロッグである。

ちなみにブレードを装着するのであれば、おすすめはウィローとコロラドを1枚ずつ重ねること。O.S.Pの純正であれば#3および#3.5のウィローと、#2および#2.5のコロラド。これらを各1枚ずつ、ダブルフックに設けられたアイに装着することで、フラッシングによるアピールだけでなく、ブレード同士が干渉するときの音でも、バスを誘い出すことが可能になる。水面でドッグウォークさせたり、ただゆっくり巻くだけでもその効果を感じることができ、まるでビッグバドのよう。何度も言うが、本当に多芸なフロッグ、それがダイビングフロッグだ。

フロッグゲームにPEラインはマスト 動かし、しっかり掛けて、確実に獲れる!

フロッグゲームに、PEラインは欠かせない。その強さから引っ掛かってもほぼ回収でき、それはカバーで掛けたバスだけでなく、ライギョなどの外道も確実に取り込めることにつながる。また伸びが他のラインに比べると少ないことは、フッキングのよさとアクション面(伸びがないため、5cmだけ移動させるような小刻みな首振りもできる)でも生きてくる。できれば50~60lbぐらいのものをおすすめする。



またスケーティングフロッグやスピントールフロッグは軽い力でもフッキングしやすい構造であるため、25lb以上のナイロン



や16lb以上のフロロをセット

したロッドに結び変えて応急的に使用することもできる。専用のタックルを持ってきていない。しかし、フロッグが効きそう。こんなときはぜひ、この応急タックルセッティングで狙ったバスを仕留めてほしい。



O.S.Pのフロッグにはそのすべてに、ラインアイにリングを装着している。これによってただ巻きや首振りアクションがレスポンスよく決まる。繊細な動きを出すための、重要なパーツ

Field Guide

見渡す限りアシが広がるフリップ天国、印旛沼。目に映るすべての景色が釣れそうで、どこから手を付けばいいのかわからないというアングラーのために、O.S.Pプロスタッフの早川純一が徹底ガイド！ アフターからアーリーサマーの印旛沼は、ここでご紹介するスポットだけでいい!!

案内人はこの人
はやかわじゅんいち
早川純一

印旛沼を舞台に開催されているNarita Airport Basser21 (通称:NAB)や利根川のTBCに参戦。TBCで2年連続AOYやNABでは4回の優勝など、数々の輝かしい成績を残してきた。休日にはご子息の野球に付き合いながら、時間を見つけては印旛沼に出撃中!!

⑨ 船戸大橋周辺

印旛新川の川幅が狭まり、しっかりしたチャンネルが通っている。その両脇に広がるシャローフラット。一年を通してサカナが溜まりやすく、シャローサイドのトップウォーターや、テナガエビを模したスローな釣りなどで丁寧に攻めたい。ふな一貸船店からも近くプレッシャーは非常に高いが、とにかくバスの密度は濃いので一度は入っておきたいエリアだ。ここでも矢板をメインに中、外、そして周辺のアシをチェック



⑩ 手繰川

印旛新川への流入河川で、アフターからアーリーサマーにかけてフレッシュウォーターが注がれる。6月からは梅雨の影響もあって、ひと雨ごとにバスのストックが増え、夏いっぱい楽しめるエリアといっても過言ではない。雨で流れが強まったタイミングは見逃せない



⑪ 阿宗橋

船戸大橋と同じく、印旛新川の中では川幅が狭くチャンネルラインがしっかり入っている場所。印旛新川全体を見渡すとナチュラルバンクではあるものの沼の性質が強い。しかしこの橋の周辺は水通しがよく川の性質が高まってくる。回遊性が高い個体が多いため、タイミングによっては連発することもあるが、まったくの無であることも珍しくない。ただし魚影は間違いなく濃いので、タイミングを変えて何度も入り直し、アプローチすることが釣果を格段に上げるキモ

⑫ 印旛新川西詰

阿宗橋から船戸大橋の間で、アシが最もブレイクに寄っているエリア。それゆえ、水の通りは非常にいいため、アフターだけでなく夏も期待できる。メインはアシやガマだが極端に奥を狙うのではなく、壁状になっているアシや矢板に沿ってクルーズする個体も多いため、矢板の内側や少し手前、さらにはブレイクと幅広く探っていくといい



⑬ ゴルフ場前

対岸に見えるゴルフの練習場が目印。この付近には2か所の機場があるため水の動きがあり、かつ機場周辺は水の出入りによって掘られた水深もある。こちらもバスの生活圏としては申し分ないエリアだ。矢板、壁状のアシ、ガマで、中でもより密度の濃いスポットはしっかりとチェックしたい

印旛沼のシーズナルパターン 6月は「縦スト」に集中砲火!!

例年、ゴールデンウィークから田植えのために20cmほど増水し、これを機にバスはスポーニングへと入る。6月にはほとんどがスポーニングを終え、縦ストラクチャーで休んで体力を回復する時期に当たる。春先にアシの表側にいたバスも、季節の進行とともに矢板の中へとポジションを変え、夏ごろまではそこで過ごす。したがってエリア選びのキーは「矢板の中」ということになる。矢板およびアシの壁が縦ストに当たり、しかもその中がどれだけ快適なのか、というのがバスのストックを左右すると言える。「矢板の中は適度に水通しもあって水質もよく、エサも豊富。バスの住処になっていて、しかも環境は非常にいい。だから6月は矢板がキモになるのです。夏に近づくとアシの密度が濃くなり、バスはより奥へと入ってしまう。よほどのこと



これぞインバのサカナ!

がない限り、外に出てきませんね」と早川は言う。ぜひ、頭に叩き込んでおこう。

同じような景色が続く印旛沼では、そのすべてを撃っていきはきりがない。他と差がつく釣果を叩き出すには、群を抜いていいスポットを見極める眼と、的確に撃ち抜くキャスト精度が求められる



《印旛沼おすすめルアー①》

03ハンツストロング(7g)+ドライブクロ-4インチ



アフター期のバスはスローなことが多いため、バックスライド系やネコリグなどが有効だが、朝の活性が高い時間帯はジグでスピーディにチェック。水中に潜むアシの根に掛けて食わせるイメージで使用するため、スリ抜けがよすぎないハンツがベストマッチ

《印旛沼おすすめルアー②》 ダイビングフロッグ



アフター回復の個体狙いで投入。上ずってエサを待ち構えているようなバスにはこれ。ややヤル気のあるバスには02ビート。これよりもさらにゆっくり探るときはスピントールフロッグといった位置づけでサーフェス系を使い分けている

ふな一貸船店

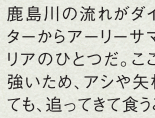
船戸大橋のたもとにある老舗レンタルボート店。マイボートの持ち込みもできる。レンタルボートは1人乗り2,000円、2人乗り3,000円。スロープの使用料は1,000円となっている。行く前に電話で確認を。TEL:043-462-9989(昼間)・043-461-6204(夜間) URL http://funaiichi.nab-21.com/



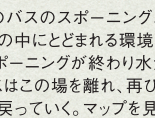
7 鹿島川河口



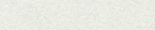
8 飯野機場前矢板



9 船戸大橋周辺



10 手繰川



6 点在する土管とレイダウン
N
これからどんどん楽しくなる!!



実釣を行ったのは5月中旬。まだスポーニングやポストなど、さまざまな個体が入り乱れる中で7匹の釣果を叩き出した早川。上から5匹の重量は6kgに迫る見事なスコアだった。さすが!

⑧ 飯野機場前矢板

鹿島川のバスのスポーニングエリアとなる場所。矢板の中にとどまれる環境が揃っているものの、スポーニングが終わり水温が高くなるとバスはこの場を離れ、再び鹿島川へと涼を求めて戻っていく。マップを見てもらってわかるように、鹿島川の流れから回り込んだところに位置する、というのがその理由



《印旛沼おすすめルアー③》 ドライブクロ-4インチ 6.5インチ(ネコリグ)



1.4gのスナッグレスネコリグで使用。縦スト狙いには欠かさないワーミング。できるだけタイトに垂直に落とせるほか、移動距離を抑えた誘いでバスにしっかり長い時間見せて、口を使わせることができる。ウエッジング(アシの上から落とし込む)で使用することも(※写真は4.5インチ)

長門川



① 高橋ボート前
甚兵衛広沼の一級スポット。レンタルボート店がある北岸の角をこう呼ぶ。最も早く、春が訪れるエリアであり、早春はバラアシがメイン。6月はアフターのサカナが縦ストにつきはじめるので、矢板のストレッチを徹底的に狙いたい。ここは流入河川が近くにあり、バスの生活環境が非常に整っている。これが他の矢板よりもバスをストックする一級エリアたるゆえん

② 宗吾機場前

トンネルの向こうが中央排水路で、そこからの水が流れ込む場所。その流れが強いせいか、深いところでは3~4mの水深がある。水が流れているときは非常に有望ではあるが、この流れを嫌う個体も中に入るため、矢板の内側を狙うべし。午前9時ごろ、水の流れが出ることが多い、とは早川の経験上の弁

④ 印旛沼漁協前

アシの蔓延を防ぐために設けられた矢板だが、その多くが朽ちて崩れたり、泥に埋まってしまっている。しかしアシが壁状にきれいに生えているところなど、矢板の有無は一目瞭然。その縦ストを狙うことが、アフタースポーニングに当たる6月の印旛沼攻略の王道だ

④ 印旛沼漁協前

ここも狙うのは矢板。エリア①の高橋ボート前と同様に、バスが生活するためにはうってつけの条件が揃っている。ちなみに漁協直営のレストランで供されるうなぎは食べログでも高い評価を得ている。興味がある方は、ぜひ!

⑤ 甚兵衛大橋

甚兵衛広沼と北部印旛沼という、ふたつのフラットをつなぐ水深のある水路。アフターのサカナが寄りやすく、夏には橋のシェードも利いてくる。アフター期はやはり矢板狙い。この矢板は両岸に入っているため、できればどちらも狙っておきたいところ

⑥ 土管とレイダウン

印旛沼捷水路内に点在する、水が流れ込む土管。雨が降ると流入量も増え、小魚が集まるばかりかこの土管から流されてくることも。7~8月には農薬の散布によって弱った魚が落ちてきて、それを狙うバスもいるという。またレイダウンは6月に産卵期を迎えるテナガエビが寄りやすく、それを狙ってくるバスも多い。両岸が切り立った地形のため、沼が風で釣りにならないときは、ここが助けエリアにもなる。カレントが発生しているときにチャンスなのを言わずもがなの事実

③ 江川

アフターから夏にかけてサカナが入ってくる流入河川。ただしボートで遊べるのは、河口部からすぐのところにある橋まで。3kmほどの細長い川で、かなり上流までバスの姿は確認しているという。車を止めるスペースもあり、足場もいいためおっっぱりに最適

